

春



年頭のあひさつ

下仁田町長

清水 善典

新年明けましておめでとうございます。

平成25年の新春を迎え、下仁田町の皆さんに謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様にはご家族お揃いで、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から町政運営に対し深いご理解と絶大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年末には、町民の皆様の信任をいただき、再度の町政運営の舵取りをさせていただくこととなり、一意専心、全町民の心を心として安全で安心な町づくりを実現し、皆様の負託に応えてまいりたいと考えます。

本年は、国政においては、年末の衆議院解散によって新たな政権運営が始まったばかりですが、消費税増税を柱とする社会保障と税の一体改革、脱原発と代替エネルギー問題、TPP（環太平洋経済連携協定）参加の是非に加えて、落ち込んだ景気の回復対策と私たちの生活においても大きな影響が及ぶ問題が山積しています。今後の政策決定が大いに注目されるところであります。

一方、本町を取り巻く情勢も、相変わらず厳しいといわざるをえません。将来にわたって安定的な財政基盤を確立するため、機構改革の実施と人件費の削減をはじめとした、財政の引き締めを行ってきたところです。

今後は、安心生活の基本となるのは、災害に耐えるイ

ンフラ整備、緻密な防災計画であるとの理念のもと、災害対策の充実に力を入れるとともに、町民ひとりひとりが明るく過ごす日常の源は、何よりも心身が健康であることであり、各種の検診をはじめとする予防医療の充実、食生活あり方等に目を向けて、町政を進めてまいります。

また、富岡製糸場に関連した遺産群の一つである荒船風穴の世界遺産登録の日本推薦が決定しました。先人の残した世界に誇れる産業の遺産は本町の宝であります。関係機関との連絡調整を密にして早急な周辺整備と観光活用への企画立案が急務となっています。ジオパークとあわせた唯一無二の観光資源の活用を強く押し進めなければなりません。

この他にも、与えられた課題は山積しておりますが、その一つ一つに真摯に取り組みたいと思います。町民皆様の声に耳を傾け、子どもたちからお年寄りまで、町民皆の笑顔が絶えない町であり、行政と町民が一体となった豊かで暮らしやすい町づくりを目指し、創意工夫を重ね町政を牽引する所存でございます。

どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が町民皆様にとって、幸多き年でありますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



平成25年



下仁田町議会議長

千野 榮治

新年明けましておめでとうございます。平成二十五年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、平素より議会活動に対し多大のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新年を迎え、あらためて身の引き締まる所であり、皆様には一層のご指導・ご鞭撻を賜りますとともに、益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

昨年は、脱原発への新エネルギー転換構想、尖閣諸島等の領土問題、近隣諸国との友好関係等様々な問題が生じました。更に経済情勢に於いては、依然として厳しい状態が続いておりますが、ようやく明るい兆しが見え始め少しづつ改善が図られてきております。

当町においては、ジオパークや、絹産業遺産群として世界遺産登録が期待される荒船風穴などの観光資源の整備充実を図り、より一層の観光客の増大、地域振興、町の活性化に向け大きな飛躍が期待される所でありま。さらには、全国に絶大なブランド力を誇る下仁田ねぎやこんにやくを主体にした、第1回「農業祭・下仁田ねぎ祭り」は、予想を上回る人出で大盛況でありました。

今後、進展する高齢化社会を見据え、より充実した福祉施策が必要とされるなかで皆様方の御期待にこたえられるよう努力すると共に行財政改革を推進し、議会及び行政が町民の皆様と共に手を取り合って素晴らしい郷土づくりに邁進していきたく思います。

12月5日、町長が再選され、議員の補欠選挙に於いて

新議員が誕生し新体制の基に、本格的に各種事業が実施されてまいります。町民の皆様から寄せられた意見・要望を参考にしながら、行政と町議会が一体となって「住みよい町・活力のある町」の実現に向け尽力して参ります。

どうぞ皆様におかれましては、この一年が幸多き年であることを祈念申し上げます。年頭に当たってのご挨拶と致します。

